

わが市の発展のために



市議会
岡田康弘

◆「その他の質問項目」
予算編成・財政運営と市長の政治姿勢

問 議場では、県、近隣町村との連携は重要だと言います。



積極的な外交活動を

答 国や県とのパイプも必要で、自身のネットワークもあるが、自治体トップのやる気など、積極的な取り組みが必要である。本市のまちづくりには力一杯取り組んでいきたい。

問 市長に外交をやってほしいと思つて、国や県、近隣市町村との関係を良好なものとし、わが市の発展につなげてもらいたいとの思いであるがどうか。

答 言った記憶はない。地方創生交付金は満額つくると言つたので、そのことではないか。

政治姿勢

ある町内会の挨拶では「働きかけはしなくても予算はついてくる」と発言している。この挨拶を聞いた方は津山の将来が心配だと言つておられたがどう思うか。

答 言った記憶はない。地方創生交付金は満額つくると言つたので、そのことではないか。

パブリックコメントのあり方は



津山新星会議
小原 多

パブリックコメント

問 第2期教育振興基本計画パブリックコメントの件数は。

答 3名の方から、21件の意見をいただいている。

問 教育委員会として、この人数と意見数は、必要かつ十分と考えるか。

答 実施結果であり、件数や人数が目的ではない。丁寧に検討し、適切に対応している。

問 余りにも少なすぎると感じるのは私だけだろうか。これで本当に市長の標榜（※）



◆「その他の質問項目」
教育行政
危機管理体制

◆「その他の質問項目」
教育行政
危機管理体制

津山駅南北自由通路の建設の目的は



緑風会
金田稔久

◆「その他の質問項目」
地域商社機能構築調査事業
東京オリンピック、パラリンピックへの取り組み

問 津山駅周辺整備の建設目的、概要、財源は。



供用開始した津山駅前

答 鉄道により分断された駅南地区に駅南口広場、南口駐車場を整備し、駅機能強化、利便性向上・促進

問 地域振興について一体的な政策一辺倒でなく、地域に合わせた施策を。

答 全市一律の振興策でなく、地域特性を活かし、個性ある地域づくりを考えていきたい。

まちづくり

を図り、人・物の交流拠点として駅南地区のまちづくりを進めたい。建設概要は、延長約60m、幅員約4mの規模を考えており、南北自由通路約11億円、駅南口広場約7億円、駅南口駐車場約2億円、概算約20億円を合併特例債、社会資本整備交付金などを財源として考えている。

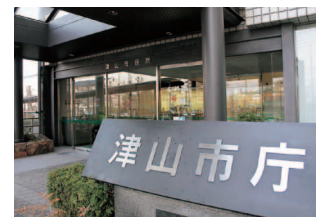
市長の施政方針



政岡哲弘

問 財政 予算要求におけるマイナスイーリング（※）の考え方と、宮地市長就任以降の経緯は。

答 平成29年度の予算編成は、見込まれる財源不足を踏まえ、一般財源ベースでマイナス10%シーリングを設定した。当初予算編成でマイナスシーリングを設定したのは平成24年度からで、一定の経費において、マイナス5%からマイナス30%シーリングを設定した経緯がある。



希望を持てる市政運営を期待

◆「その他の質問項目」
これはというような特化した施策実施の必要性

問 人口減少対策 市長が施政方針でも述べ、重要課題と位置付けられた人口減少歯止め策として、例えば教育に特化するなど、積極的な施策実施が必要なのは。

答 子育て支援、強い地場産業創出、働く場の確保、移住・定住の促進など、地方創生への施策に取り組みたい。